



徳川家康公顕彰四百年記念事業



## 家康と広重の東海道

8月11日(火) - 11月8日(日)

Part 1 / 8月11日(火) - 9月6日(日)

Part 2 / 9月8日(火) - 10月12日(月・祝)

Part 3 / 10月14日(水) - 11月8日(日)

主催：静岡市東海道広重美術館

(指定管理者 NPO 法人ヘキサプロジェクト)

協力：徳川家康公顕彰四百年記念事業 静岡部会事業実施本部

静岡市経済局商工部産業振興課

公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団

清見寺

望月人形

### 企画概要

徳川家康の没後 400 年を記念し、家康の整備した「東海道」をテーマとした展覧会を開催します。家康は天下統一後すぐに東海道の整備に着手、街道が整うと交通量が増加し、東海道を行き交った大名行列、商人や職人らによって各地に様々な文化がもたらされました。庶民の旅の需要が高まった江戸時代後期、歌川広重は人々でにぎわう東海道の風景を浮世絵に表しました。本展覧会では広重の代表作『東海道五拾三次之内』、『東海道』、幕末の絵師たちが京へ向かう十四代将軍徳川家茂を描いた『東海道名所風景』を展示します。併せて、府中を訪れた職人から現代に受け継がれる静岡市の伝統工芸、諸国から静岡市内の史跡に伝わる文化財の数々をご紹介します。浮世絵をはじめ街道にまつわる品々から、日本の大動脈「東海道」の姿に迫ります。

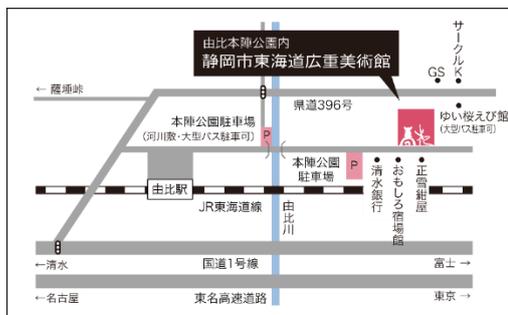
開館時間：午前9時～午後5時（入館は閉館の30分前まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）

入館料：一般 510 円（410 円） / 大学生・高校生 300 円（240 円） / 中学生・小学生 120 円（100 円）

※静岡市在住または通学している中学生以下及び、静岡市在住の70才以上の方は無料 ※身体障害者手帳等をご持参の方及び介助者は無料

※（ ）は20名以上の団体料金



#### 電車をご利用の場合

JR 東海道本線「由比」駅下車後 徒歩 25 分、タクシー 5 分

#### お車をご利用の場合

美術館無料駐車場 21 台（由比本陣公園駐車場）

#### ■大阪・名古屋方面から

東名高速【清水 I.C.】から国道 1 号経由約 20 分

#### ■東京・横浜方面から

東名高速【富士 I.C.】から国道 1 号経由約 25 分

静岡市東海道広重美術館 〒421-3103 静岡県静岡市清水区由比 297-1

[URL] [www.tokaido-hiroshige.jp](http://www.tokaido-hiroshige.jp) [facebook] [www.facebook.com/tokaido.hiroshige](http://www.facebook.com/tokaido.hiroshige)

本展覧会及びプレスリリースに関するお問い合わせ

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp

## ■ 展覧会のみどころ

### ①ダイジェスト版・東海道の歴史

東海道は徳川家康の全国統一政策のため整備が進み、やがて江戸時代後期には庶民の旅ブームが訪れ、歌川広重が描いた「東海道もの」の浮世絵が好評を博しました。軍事的・政策的に利用された「家康の東海道」から、庶民芸術である浮世絵のモチーフとなった「広重の東海道」に移り変わるまでの歴史を、各時代の文書や版本からダイジェストでたどります。

[上] Part 1～Part 3 展示作品『徳川家康禁制 木札・竪紙（部分）』清見寺蔵  
天正十年（1582）三月三日、家康が清見寺に宛てて、  
軍勢の乱妨狼藉（らんぼうろうぜき）を禁止したものです。

[下] Part 2 展示作品 歌川広重『東海道五拾三次之内 御油 旅人留女』当館蔵



### ②あの人も通った東海道

広重の浮世絵には大名行列や旅人、二代広重らによる「御上洛東海道」には十四代将軍家茂の一行が描き込まれ、かつて東海道を通った人々の様子を伝えています。さらに興津の清見寺、由比の常円寺といった市内の史跡から、徳川家ゆかりの宝物、家康が交流を結んだ朝鮮通信使から伝わる品々をご覧ください、東海道を通り駿河を訪れた人々の姿を振り返ります。



Part 1～Part 3 展示作品  
山号額「法城山」常円寺蔵  
延享五年（1748）に来日した朝鮮通信使によって常円寺の山号が書かれています。

## ■ 関連企画 1 / 講演会 近世東海道と由比宿

講師：本多隆成（静岡大学名誉教授） 日時：9月13日（日）13：30～15：00

参加費：無料 ※入館料別途 定員：35名

申し込み：WEB サイト・電話（054-375-4454）にて申し込み  
（先着順 ※定員になり次第受付を終了します）

## ■ 関連企画 2 / 浮世絵版画の実演&摺り体験ワークショップ

講師：公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団

日時：10月18日（日）午前の部 11：00～12：30 / 午後の部 14：00～15：30

参加費：無料 ※入館料別途 定員（摺り体験）：各部15名（要事前申し込み）

申し込み：WEB サイト・電話（054-375-4454）にて申し込み  
（先着順 ※定員になり次第受付を終了します）

## ■ 関連企画 3 / 当館学芸員によるギャラリートーク

日時：Part 1 / 『東海道』（隷書東海道）8月23日（日）13：00～13：30

Part 2 / 『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）9月20日（日）13：00～13：30

Part 3 / 『東海道名所風景』（御上洛東海道）10月25日（日）13：00～13：30

参加費：無料（入館料別途）

※当日当館エントランスホールにお集まりください。（申し込み不要・定員制限無）

## ■ 作品紹介：歌川広重作品

### Part 1 『東海道』（隸書東海道）シリーズ全 55 点

題名が隸書体で書かれることから通称「隸書東海道」の名で知られる揃いもの（シリーズ）。深い色味で摺られ、立体感と重厚感を備えています。

### Part 2 『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）シリーズ全 55 点

広重の出世作にして、浮世絵版画を代表する揃いもの（シリーズ）。版元保永堂から刊行されたことから、通称「保永堂版東海道」の名で広く知られます。

### Part 3 『東海道名所風景』（御上洛東海道）シリーズ内 55 点

開国が攘夷（じょうい）かで揺れる幕末、十四代将軍家茂は朝廷の求めに応じて京都へ向かいました。二代歌川広重をはじめ多くの絵師たちが家茂の上洛を捉えた 160 図を越える中から、家康ゆかりの駿府城や久能山を描いた作品を中心に展示します。



Part 1 展示作品

歌川広重『東海道 十八 五十三次 興津  
清見かせき 清見寺』当館蔵

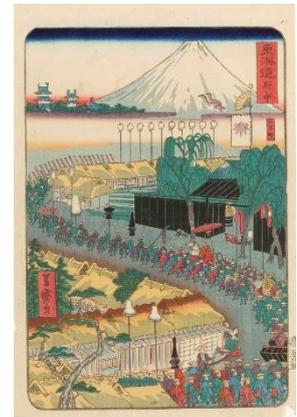
清見寺は家康が今川氏の人質時代に学んだ由緒ある寺院で、家康は大御所時代にも度々訪れました。奈良時代の関所・清見ヶ関を護るために建てられ、眼下に広がる駿河湾の絶景で知られました。



Part 2 展示作品

歌川広重『東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺』  
当館蔵

由比と興津の間にある薩埵峠は東海道の難所の一つでしたが、富士見の名所としても知られました。幕府は明暦元年（1655）朝鮮通信使の通行に際し、薩埵山を開削して峠道をつくりました。



Part 3 展示作品

歌川芳盛『東海道 府中』当館蔵

幕府公認の遊郭二丁町を手前に配し、駿府城と富士、家康が戦場で用いた「金扇馬標（きんせんうまじりし）」といった、家康ゆかりのモチーフが一図の中に収められています。

## ■ 小展示室：諸国から駿河に伝わる文化

### 東海道を行き交う人

駿府城築城、久能山東照宮造営、浅間神社造営に際し、諸国から優れた職人が府中に集められました。その技術は静岡市の伝統工芸として現代にも息づいています。本展では江戸から現代の名工による工芸品をご紹介します。

Part1 駿河漆器、駿河竹千筋細工 / Part2 駿河蒔絵、寄木細工、賤機焼  
Part3 駿河雛具・雛人形

### 東海道を行き交う物

静岡市には諸国で生産され駿河にもたらされた文化財が数多く残ります。本展では、家康とつながりの深い清見寺をはじめとした静岡市内の史跡から、徳川家ゆかりの宝物、諸国の工芸品をご紹介します。



Part 2 展示作品

諸井治郎 『漆額皿「富士」』

静岡市経済局商工部産業振興課蔵

## 美術館概要

### 静岡市東海道広重美術館

静岡市東海道広重美術館は、江戸時代の浮世絵師、歌川広重の名を日本で最初に冠した美術館です。広重の代表作『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）、『名所江戸百景』など、風景版画の揃物の名品を中心に約1400点を収蔵しています。浮世絵と現代作品をつなぐ企画展を開催するなど、「新たな浮世絵文化」の発信に力を入れています。



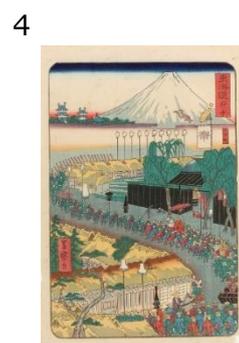
三代歌川豊国『広重死絵』当館蔵

### 広重について

歌川広重（1797 - 1858） 浮世絵師

15歳頃に歌川豊広に入門。保永堂から刊行された『東海道五拾三次之内』が大好評となり、その後も風景を描いた浮世絵を制作し、名所絵師として名を馳せました。晩年の集大成ともいえる『名所江戸百景』を制作中、病に倒れ62歳の生涯を閉じました。広重の大胆な構図や抒情性豊かな作風は万人に愛され、国内外の作家に影響を与え続けています。

## 広報用画像提供のご案内



### □作品名およびクレジット

- |                |  |
|----------------|--|
| 1. 展覧会ポスターイメージ | ©Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art |
| 2. 歌川広重        | 『東海道 十八 五十三次 興津 清見かせき 清見寺』静岡市東海道広重美術館蔵         |
| 3. 歌川広重        | 『東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺』静岡市東海道広重美術館蔵                 |
| 4. 歌川芳盛        | 『東海道 府中』静岡市東海道広重美術館蔵                           |
| 5. 諸井治郎        | 『漆額皿「富士」』静岡市経済局商工部産業振興課蔵                       |

#### 〈使用条件〉

- ※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- ※ご使用の際は、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等はご遠慮ください。
- ※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。
- ※ご使用の際は、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。
- ※弊館での広報実績資料とさせていただきます。後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

## 『家康と広重の東海道』

### 広報用画像データ申込書

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

Fax. 054-375-5321 E-mail. info@tokaido-hiroshige.jp

■ご希望の作品番号にチェックをつけてください

1.  展覧会ポスターイメージ
2.  歌川広重『東海道 十八 五十三次 興津 清見かせき 清見寺』
3.  歌川広重『東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺』
4.  歌川芳盛『東海道 府中』
5.  諸井治郎『漆額皿「富士」』

貴社名：

媒体名：

ご担当者名：

TEL：

FAX：

E-mail：

画像到着希望日： 月 日 時頃 ※指定可能時間 10:00～16:00

掲載予定日（コーナー名）： 月 日

#### 〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等をご遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただきますため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

本プログラムをご紹介いただく際は、ご連絡をお願いいたします。

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp